

ぱるねっと



フウセンウオ(写真提供:おたる水族館)
オレンジ色の丸い体に、小さなヒレを持つこの魚の名前は「フウセンウオ」。
そのかわいらしい姿は、おたる水族館で見ることができます。
(写真は展示前の個体で、生後2〜3カ月、全長8mmほどの小ささです。
体の色は白っぽいものや黒っぽいもの、カラフルなものなどさまざまです。)

「ぱるねっと」は今号で
第30号を迎えました!

特集

- ◆ **今、家庭で何が起きているのか?**
～家族ってなんだろう
- ◆ **女性も男性もすべての人が輝ける社会へ**
～異性の多い職場で働くということ

No.30
2020.03

今、家庭で何が起こっているのか？

令和元年11月9日(土)、「男女共同参画推進講演会」が小樽経済センタービルで開催されました。今回は、弁護士の須田布美子さんをお招きして「今、家庭で何が起こっているのか?」と題し、家庭で起きているさまざまな問題について、法律的観点からお話を伺いました。

当たり前と思っている家族の在り方や家庭という枠組について、須田弁護士のレジュメをもとに講演を振り返ってみました。

1 そもそも家族ってなんだろう

家族のイメージって？

- ◆一緒に住んでいる? ◆血が繋がっている?
- ◆父と母と子ども? ◆祖父母と孫?

民法に「家族」を定めた規定はありません。「**親族**」の範囲で規定があります。



モデルケースのような家族ばかりではないようです!

Q 小さい時に別れ音信不通だった顔も覚えていない親のために就職したての私が送金しないといけないの?

A 家計にゆとりがなければ、しなくても構わない。扶養の義務(民法第877条 **親族扶養義務**)といっても、生活保持義務と生活扶助義務は違います。

Q では、家計にゆとりがあれば、私を虐待した親でも送金をしないといけないの?

A 難しい問題です。

「こんなことなら、親子関係を解消したい」と考える人も、現実には少なくありません

選択的夫婦別姓や離婚の際の親権など、当事者になって初めて気付く、家族に関する法的な規定は多々あります

親族: 民法第725条 六親等内の血族、配偶者、三親等内の姻族
生活保持義務

夫婦・未成熟の子に対する親の扶養義務(一椀の飯も分け合うほどの強い義務)

生活扶助義務
成人した子に対する親の扶養義務・祖父母と孫・兄弟姉妹間(自分の生活を維持したうえで余力があれば援助する)



2 家族の中でも犯罪は起こります

児童虐待やDVなど報道される家族の事件は氷山の一角かもしれません

Q 妻に対する夫の行為のうち、正しいものはどれでしょう

- 夫が私のアクセサリを盗んで、勝手に売ってしまいました。警察から、それでも夫を処罰することはできないと言われました。
- 夫が、嫌がる私を押さえつけて、無理やりセックスをしました。レイプだと思いますが、夫は処罰されないとされました。
- 私は浮気をしてしまいました。怒った夫は、私をボコボコに殴りました。それでも夫は、処罰されないとされました。

A 正解は、①。刑法の親族間の特例により、夫婦間の窃盗は処罰されない。

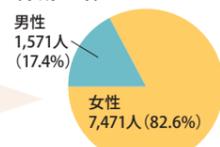
家族間の暴力には、こんな傾向があるようです

- ・妻に暴力を振るう夫は、子どもにも暴力を振るうことが多い
- ・子どもに身体的暴力を振るう父は、性的虐待にも及びやすい
- ・子どもに対する身体的・性的暴力に気付いた母が、DV被害者であれば子どもを救えないことも多い
- ・母親が子どもを救おうとするとも限らない。経済的な理由から黙認するケース、むしろ母が被虐待児に嫉妬するケース等



パートナーへの暴力、子どもへの暴力は、男性から女性とは限りません

DV相談者の性別(平成30年)



「警視庁HP」より

同性カップルの間でもDVの問題が起こっています

3 家族をやめましょう

こんなに理不尽で耐えがたいなら、家族をやめることはできないのでしょうか?

◆夫婦は離婚できます

でも、子どものいる夫婦では、親権を巡るトラブルや面会交流の難しさなどがあるようです。(結婚している夫婦にしか共同親権は、認められていません)

「離婚後、一緒に暮らさない親も、共同親権を持てるようにしてはどうか(須田弁護士)」

※子どもの利益が最優先と考えられ海外では離婚後も共同親権が主流です

◆養子縁組は解消できます

◆実親子関係を解消することはできません

最近では、「死後離婚」という言葉も耳にします

※死後離婚: 配偶者の死後に「姻族関係終了」の届け出をし義理の両親や義理の兄弟姉妹など「姻族」との関係性を絶つこと



家族の在り方について、多様性を尊重し、自由と平等の保障された未来を

いろいろな結びつきの家族が、自由と平等に暮らすには、憲法の理念に基づいた、家族にかかわる法律の整備が不可欠です。

参加者の声

■ 具体的に分かりやすく、法的に見るとどうなのか、視点が広がりました。憲法24条の大事なことが改めて分かりました。【女性・50代】(※憲法24条 婚姻は両性の合意のみに基いて成立し・・・→家庭生活における個人の尊厳と両性の本質的平等について規定)

■ 憲法改正が叫ばれていますが、読み過ぎていた言葉、あるいは改正になれば削除される言葉について、もっと注意深く見守っていかねばと感じました。【女性・60代】(※上の24条にも改正の意見が出ています)

4 もう一度、家族ってなんだろう

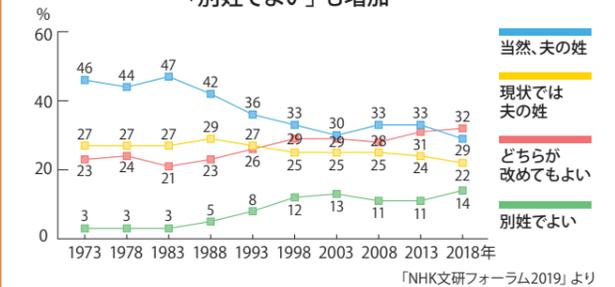
家族に対する世の中の考え方は変化しています

- ◆どんな家族でも助け合わなくてはならないのか
- ◆どんな家族になるかを、決めつけられなくてはいけないのか
- ◆どんな家族からも逃れられないのか
- ◆家族の形を自分で決める自由はないのか



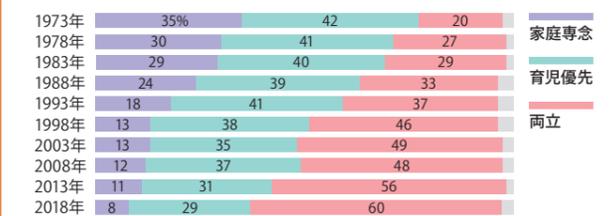
家族についてじっくり考えてみませんか

夫婦の姓 「どちらが改めてもよい」が最多に「別姓でよい」も増加



家庭と女性の職業

「両立」= 出産後も職業を持ち続けたほうがよいが増加



■ ぼんやりしていた親権問題などとても勉強になりました。結婚の意義は社会保障のパッケージということも理解が深まりました。法に守られている部分と落とし穴の部分があるのだなと思いました。【女性・50代】

■ 最近における家族をめぐる状況が理解できた。特に法制度と社会の隔たりを是正していくのが社会の歩みであると思います。【男性・60代】



HIKARI GOKIN

水抜栓で支えています 寒冷地の暮らし

株式会社 **光合金製作所** 本社・工場 / 小樽市新光5丁目9番6号
TEL (0134)65-0000(代) FAX (0134)52-1802 URL <http://www.hikarigokin.co.jp/>



女性も男性もすべての人が輝ける社会へ！～異性の多い職場で働くということ



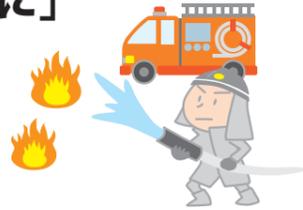
1995年12月に創刊した「ばるねっと」は、今号で30号を迎えました。この約25年の間に、かつては男性だけ、女性だけの職場と思われていた分野に、異性が進出しているのをよく目にするようになりました。そこで今回は、異性が多数を占める職場に飛び込んだお二人に、お話をお伺いしました。



「人から直接、感謝される仕事ができるように」

かとう ちひろ
加藤 千尋さん(消防士)

小樽市消防署オタモイ支署で、消防隊員として勤務。
小樽生まれの小樽育ち。大学卒業後、小樽市消防吏員として採用。
消防学校で約6カ月の訓練を受けた後、オタモイ支署に配属。



Q 男性が多数を占める職種を志した理由は？

小さい頃から、こういった仕事に特に憧れていたというわけではなく、もともと、大学では建築について学んでいました。
建築という仕事は建物などを建て、利用してもらうことによって、人に喜んでもらう仕事です。しかし、就職が近づいたとき、もっと直接、人から「ありがとう」と言ってもらえる仕事をしたいと考えました。そのとき、頭に浮かんだのが、公安職と言われる警察や消防、海上保安といった仕事でした。もちろん、こういった仕事が、とてもかっこよく思えたという理由もあります。

Q 実際に仕事に就いて、よかったことや楽しかったことは何ですか？

消防隊の現場隊員として、災害や事故、自然災害などに出勤する勤務に就いています。現場などで、女性の傷病者の方から、「女性の隊員の人がいる、ほっとした」、「同じ女性なので安心した」などの声を掛けられることもあり、そういうときはとてもうれしく感じます。また、なかなか日常では経験できないことが経験できるので、とても勉強になります。
勤務は、2交代制で1当直24時間、8~9人の職員と一緒に勤務しており、和気あいあいとした雰囲気、やさしく接してくれます。
しかし、出勤時はもちろん、訓練となれば厳しく指導されます。指導されたことはきちんと改善できるように心掛けています。

Q 反対に、困ったことやつらかったことはありましたか？

女性なので、どうしても力の面では競っても勝てないことが多いです。しかし、反対にそれを克服し、どうしたら同じことができるのか、よく考えなくては行けないという思いを持って勤務しています。

Q 周囲の方々(家族や友人、知人など)の反応はどのようなですか？

職業を聞かれたときに、「消防士をしている」と言うと驚かれます。私が、「公安職を希望する」と言ったときには、親も驚いていました。しかし、反対はせず、「進路を変えるなら、1から自分の力でやってみなさい」と応援してくれました。

Q 同じ職種を目指す同性の方に、メッセージをお願いします。

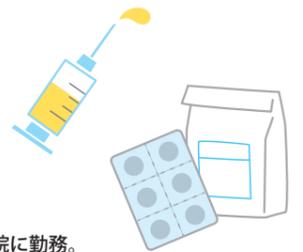
女性消防士という道があることを知ってほしいと思います。年々、少しずつですが増えてきています。
小樽市消防本部は、女性も現場隊員として24時間勤務に就くことができ、周りの皆さんも温かい方が多く、親身になってやさしく接してくれます。
施設面でも、女性のための設備等も充実していますので、ぜひ、女性消防士として一緒に働きましょう！



「患者さんや家族の方に、やさしく看護を提供したい」

にした かずき
新田 一樹さん(看護師)

小樽市立病院のICU(集中治療室)で、看護師として勤務。
小樽生まれの余市育ち。市立高等看護学院を経て市立小樽第二病院に勤務。
平成29年10月にICU担当となる。



Q 女性が多数を占める職種を志した理由は？

9歳年下の弟がいますが、先天性の疾患があり、現在も入院を繰り返しています。弟の力になりたくて医師を志した時期もありますが、弟の病院へ通ううちに看護師という仕事や魅力を知り、目指すことにしました。
働いていく中で、患者さんに寄り添い、看護の素晴らしさに気付くことができたため、今では看護師でよかったと思っています。

Q 実際に仕事に就いて、よかったことや楽しかったことは何ですか？

退院時などに、患者さんやその家族から「ありがとう」と言われることです。今までの関わりや、自分がやっていたことが間違っていなかったんだなと実感でき、励みになります。
楽しいと思うことは、患者さんの回復していく姿を見られることです。手術後や急変時の大変な時期と一緒に乗り越えて、退院していく姿を見られるのは、非常にうれしいことです。

Q 反対に、困ったことやつらかったことはありましたか？

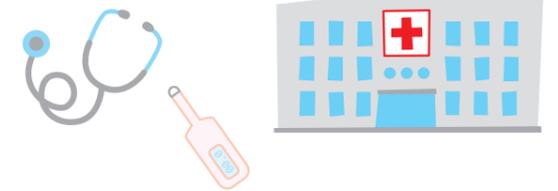
つらいのは、患者さんの死です。ICUでは、救急で運ばれてきた患者さんがすぐに亡くなってしまふことがあります。そのとき、どのように家族に声を掛ければいいのかいつも悩んでいます。
また、ICUには手術後の患者さんも多数入院しており、女性も入室することがあります。自分が男性看護師ということもあり、担当となった場合は、羞恥心を感じさせないような関わりを常に意識しています。

Q 周囲の方々(家族や友人、知人など)の反応はどのようなですか？

親は安心しているようです。男性が看護師の職に就くことにも抵抗はないようです。友人たちからも特に変わった反応はありませんでした。

Q 同じ職種を目指す同性の方に、メッセージをお願いします。

病院にはさまざまな年代の男女が入院し、その家族の背景も多様となっています。私たちは、コミュニケーションを図り、さまざまな視点からアセスメントし、その人に合った看護を提供しなければいけません。
行った看護が、正しかったのか間違いだったのかわかりませんが、患者さんはその看護の結果を良くも悪くも示してくれます。患者さんから学ばせてもらい、共に成長できるのが看護師の魅力だと思っています。
看護師になるまでも、なっても大変なことは多いです。しかし、人と関わることの大切さや信頼を築ける喜びを感じることができるので、諦めず頑張ってください。



臨時ゴミの収集運搬はまかせください！

- 事業系一般廃棄物 産業廃棄物
- 大掃除のときに 出る粗大ゴミ
- 引越しのときに 出る粗大ゴミ
- 家具・建具 などの処分

お気軽に ご相談 ください



小樽市許可第17号収集運搬業者
(株)クリーンサービス ☎33-2633 FAX33-8937 小樽市天神2-8-1

大切なあのひとへの贈り物に。

—ロマンの街に「おいしさの歴史」を刻みます— **洋菓子・喫茶の あまとう**

本店
小樽市稲穂2-16-18(都通りアーケード街)
☎(0134) 22-3942

運河店
小樽市色内1-1-12(中央バス運河ターミナル内)
☎(0134) 31-0141



小樽サブレ マロンコロソ

平成31(令和元)年度男女共同参画セミナー (8月28日、9月4日開催)

一人ひとりが安心できる「つながり」を築くために

人間関係を上手に構築するためには？ 子どもと養育者の関係性や、家庭や職場で役立つ気持ちの整理術について、専門の方をお招きし学習しました。

第1回

37名参加



「愛着障害について ～子ども時代の愛着形成が生涯に与える影響～」

講師 酪農学園大学准教授 須賀 朋子 さん

◆ 愛着とは「安全基地」のこと

赤ちゃんは泣いたら抱いてもらう、子どもは外の世界で遊び危険や不安を感じたら養育者の元に戻り安心を得る、その繰り返しによって養育者との絆(=愛着=安全基地)が生まれます。それが他者とのつながりを築く基盤となり、自立して人間関係や社会性を身に付けることができるようになるのです。

◆ 不安定な愛着がもたらす影響

子ども時代に虐待を経験すると安定した愛着を得られず「何をしても暴力は止まない、誰かに救われることもない」というトラウマから、自己防衛のために強そうな振りをして、いじめ、ハラスメント、DV、虐待、という行動を引き起こすことが多くあります。

また、子どもにとって親こそが絶対的な権威であり、恐怖は愛着の必要性を増大させ、虐待されればされるほど親にしがみつきます。同じように、いじめやDVの被害者も加害者にしがみついたりすることがあります。

更に、安心感の蓄積がないと、危険な状態にあるときに生き生きとした気分になり、危険な人や刺激的な人に近寄ってしまいがちです。(例：DVを受けて離婚したのに、また暴力的な人と再婚する)

また、恋愛や仕事、薬物などへの依存に陥りやすい傾向もあります。

【参加者の声】

幼少期がとても大切なんだと気付きました。家庭が安心できる場をつくり、子どもがのびのび育ってほしいと思います。



日常の中でのトラブルの原因として愛着障害があることを知りました。

人間として社会で生きる力を身に付ける基礎が「愛着」ではないかと思いました。

第2回

25名参加

「より良く生きるためのアンガーマネジメント ～怒りと上手につき合うコツ～」

講師 一般社団法人日本アンガーマネジメント協会認定 アンガーマネジメントシニアファシリテーター 長縄 史子 さん



◆ 私たちを怒らせるものの正体は ～「〇〇べき」

自分の価値観に対し現実がそうでないときに怒りが生まれます。違う見方をすれば怒らないで済むことがあります。



◆ 怒りは二次感情(冰山) ～怒りの裏には元になる マイナスの感情があります

気持ちを話せる相手がいなかったり感情を表す言葉が少なかったり(ボキャ貧)して、周囲に当たり散らしてしまうことがあります。相手の怒りの裏にある本当の気持ちを理解すると無駄なケンカを回避することができます。



【参加者の声】

今まさに怒りに捉われている状態だったので、少し気持ちが優しくなれてよかったです。



職場でも子どもと関わる仕事のため怒ってしまうことが多々あるので、ためになりました。



自分が「こうあるべき」と考えイライラしていることも、相手にとっては大切ではない、重要ではない、優先度が低いということがわかりました。



ALTを通して感じる 母国と日本との違い

小樽市教育委員会ALT アンディ・ロースリー さん



ALTとして、ニュージーランドから小樽に来て3年目のアンディさん。初対面の子どもたちには、オープンな印象を与えるようにと心掛け、英語を教えると同時に自分も日本語を学ぶという意味で同じ立場でいたいと考えており、生徒からも親しみを込めて「アンディ」と呼ばれています。

「ニュージーランドは世界で最初に女性の参政権を認めた国で、女性の地位が一番早くに認められたということが大変誇りに思っています。女性が出産で会社を辞める必要はありませんし、男女の差がないことで有名なニュージーランドでは、育児も料理もフィフティフィフティ、男女の区別をする必要は全くありません。LGBTに対しても、国として法案が通っているニュージーランドに比べ、日本は少しずつ周知を広めてはいるものの、まだ理解度は低い気がします。私は大学時代にソーシャルワークの一つとしてLGBTの人たちと共に仕事をしていたので理解していますが、日本ではまだまだあまり耳にしません。また、日本の職場では、男性

に比べて女性を褒めることが少ないと感じましたが、これはALTを通して見えることかもしれませんね。今は、子どもたちへの英語教育に専念しているアンディさん。時には、人権や動物愛護の話も子どもたちにわかる英語で伝えており、そういった活動を将来も日本で続けていきたいと話してくれました。



※ALT (Assistant Language Teacher=外国語指導助手) とは、小・中学校において、児童や生徒への英語教育や国際理解教育の向上を目的に配置されている外国人をいいます

GGI (ジェンダー・ギャップ指数 2019年版) 順位 (153か国中)
ニュージーランド 6位
日本 121位 ※男女間格差が大きい国ほど順位が低い



読み聞かせ活動の様子

たるBOOKは、2014年3月に「小樽市民がいつでも・どこでも・だれもが本に親しめるように、『本との出会い』を作り、『本好き』が集まり、『本』をツールに新しい町づくりをしていくこと」を目的に設立しました。小学校で子どもの読み聞かせボランティアをしていたことがきっかけでスタートしたこの会ですが、今は乳幼児からお年寄りの方まで、年代を超えて読み聞かせや紙芝居などの活動をしています。

活動内容は、ボランティア活動(学校、老人施設など)、講習会や研修会、子ども向け・大人向けワークショップ、講演会、ビブリオバトルなどです。最近は、学校での読み聞かせだけでなく、子ども向けのイベントや福祉のイベントなどにも呼んでいただき、活動の幅が広がりました。「読書離れ」「活字離れ」と言われて久し

いですが、改善されないのはなぜでしょう？ 私は、大人が本を読んで楽しんでいないからだと思います。1日10分でもいいので、ぜひ五感で「本」を楽しんでもらいたいと思っています。そして、読み聞かせも体験してほしいです。誰かのために読む、誰かが自分のために読んでくれる…その両方の心地よさをぜひ体験してみたいと思います。誰かのために読む、誰かが自分のために読んでくれる…その両方の心地よさをぜひ体験してみたいと思います。誰かのために読む、誰かが自分のために読んでくれる…その両方の心地よさをぜひ体験してみたいと思います。

現在、活動する会員は15人。それぞれの得意分野を活かして、活動に参加しています。そして、何よりも本を通して知り合った出会いを大切にしています。今後も自分たちが本の世界を楽しみながら、その楽しさを市民の皆さんにお届けしていきたいと思っています。



読み聞かせ活動の様子



いっしょに歩こう

— 秋の手宮公園 —

手宮公園は、小樽港を一望できる標高80mほどの小高い丘にある公園です。桜が有名なため、桜の季節の写真が紹介されることが多い公園ですが、昨年10月末、秋雨明けの快晴の日に手宮公園を訪れました。

この日は、雨上がりのためか人も少なく、我を忘れ紅葉が広がる色とりどりの散歩道を歩いたほか、美しい紅葉と青い小樽の海という素敵な景色が見られました。眼下に見える小樽港には大型フェリーも停泊。港の赤と白の灯台を出入りする船が望まれ、遠く石狩方面までも見渡せました。

手宮公園は1900年(明治33年)に国有地の払い下げを受け開園した、北海道内でも歴史のある都市公園です。北限

の栗林とも言われ、地面には栗拾いの後のイガが栗林に敷かれたように重なりあっています。2014年(平成26年)には「北の造園遺産」として選定されたほか、小樽市の景観条例に基づく重要眺望地点にも指定されています。



坂の街として知られる小樽では、高台から見下ろす眺望景観がいろいろなところで楽しめますが、手宮公園の高台からは一望で街の形や広さを知ることができ、春の桜と秋の紅葉の季節は、特に美しい風景が広がることから、その景色を見ようと多くの人が訪れています。

知っていますか?

「LGBT」と「SOGI」

ソジ

近年LGBTという言葉は性的マイノリティの人の総称として認知度は急速に上がったように思います。一方、SOGIはSexual Orientation and Gender Identityの頭文字で、直訳すると「性的指向(好きになる性)と性自認(心の性)」という意味を持つ、あらゆる人の性の在り方を表す言葉です。性の在り方は多様であり、男と女だけではありません。常に男と女に区別して考える社会はLGBTの人にとって生きづらく、例えば、トイレに入りづらい、女性の(男性の)制服を着なければならぬ、修学旅行の班分けに困る、同性同士では法律婚ができない、など、LGBTではない人が何でもないことに大きな困難を抱えています。LGBTを身近な存在と感じていなくても、正しい知識を持ち理解する気持ちを忘れないでください。

ひとりで悩まないでください

女性に対する暴力

相談窓口のご案内

殴る・蹴るだけがDVではありません。大声で怒鳴る・物を投げつける・無視する・交友関係を制限する・生活費を渡さない・性行為を強要するといった態度や行動もDVです。「恥ずかしい」「家族に迷惑がかかる」などと感じて、自分ひとりで解決しようと思いついていませんか? おかしいと思ったら、まずはご相談ください。

●小樽市女性相談室

電話 0134-22-6010 メール kyodo-sankaku@city.otaru.lg.jp 平日 9:00~17:20

●北海道立女性相談援助センター

電話 011-666-9955 平日 9:00~17:00、17:30~20:00 土日祝 9:00~17:00

●女性の人権ホットライン

全国共通 0570-070-810

●DV相談ナビ

全国共通 0570-0-55210

●インターネット人権相談

<http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken113.html>

●性暴力被害者支援センター北海道SACRACH(さくらこ)

電話 050-3786-0799 平日 10:00~20:00



編集後記

女性の消防士の方に取材をさせていただき、とても誇りを持ってお仕事されているなと思いました。男性も女性もお互いの個性を生かし、仕事も生活も助け合える社会を築いていくことの大切さを改めて実感しました。(牧野) 初めて編集に参加しました。短期間で広報誌が出来上がるのか心配しましたが、インタビュー、取材、編集と今まで経験深い方にリードしていただき楽しく作ることができました。とても勉強になりました。(直江) 法律は整備されてきましたが、いろいろな場面では感じるのは、「女性」の権利をあまり意識していない方もいることです。変化を求めないことが、日本のジェンダーギャップ指数が低いことの一因とも感じます。日本の女性は、大いに権利を求めべきです。(星) 痴漢レーダーアプリや家事分担アプリなどわたしの世代では考えられなかった物が登場。キーワードは可視化。痴漢被害も女性に偏る家事も、見えることで改善されることが多々あります。こういうアプリを作り出す若い世代に連帯を感じ勇気もらった気持ちになります。(村上)

ばるねっと

に関するご意見・ご感想をお寄せください。

令和2(2020)年3月1日発行

■発行■

小樽市生活環境部男女共同参画課
〒047-0024 小樽市花園2丁目10番18号
TEL0134-22-5904 FAX0134-22-6081
Email:kyodo-sankaku@city.otaru.lg.jp

■企画・編集■

男女共同参画情報誌編集委員会
編集委員/村上 早苗・星 功
牧野麻奈美・直江 明美